



---

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた  
横浜市の多言語対応の取組  
～ラグビーワールドカップ2019™の事例より～

令和元年12月24日  
第9回多言語対応協議会

横浜市国際局政策総務課担当課長 関谷 聡

# ラグビーワールドカップ2019™日本大会

## <大会概要>

- 日程 2019年9月20日(金)～11月2日(土)
- 開催試合数 全45試合 (台風の影響により3試合中止)  
うち横浜国際総合競技場での試合数 7試合 (台風の影響により1試合中止)
- 観客動員数 全国12会場延べ1,704,443人  
うち横浜国際総合競技場での観客動員数 401,742人

No	日程	試合開始時間	プール	対戦	観客動員数
1	9月21日(土)	18:45	B	ニュージーランド v 南アフリカ 23 - 13	63,649人
2	9月22日(日)	16:45	A	アイルランド v スコットランド 27 - 3	63,731人
3	10月12日(土)	17:15	C	イングランド v フランス 台風のため中止	-
4	10月13日(日)	19:45	A	日本 v スコットランド 28 - 21	67,666人
5	10月26日(土)	17:00	準決勝1	イングランド v ニュージーランド 19 - 7	68,843人
6	10月27日(日)	18:00	準決勝2	ウェールズ v 南アフリカ 16 - 19	67,750人
7	11月 2日(土)	18:00	決勝	イングランド v 南アフリカ 12 - 32	70,103人※1
合計					401,742人※2

※1 横浜国際総合競技場で開催された競技で観客動員数歴代1位を獲得

※2 全観客動員数の約23.5%

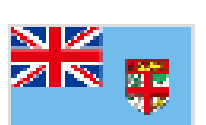
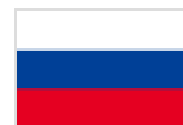
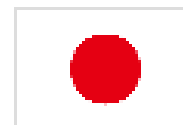
# ラグビーワールドカップ2019™日本大会

## < 多言語対応の取組 >

出場国数 20か国

非英語圏の日本において、  
多様な国の選手やサポーターを  
混乱なく誘導する必要性

日本語と英語の活用



# ラグビーワールドカップ2019™日本大会

## <多言語対応の具体事例>

① 案内デスクの配置

② ボランティアの活躍

③ ファンゾーンでの取組

④ 広報

# ラグビーワールドカップ2019™日本大会

## < ① 案内デスクの配置 >

- 競技場やファンゾーンの最寄り駅や主要駅の5駅6か所（※）に案内デスクを配置  
 （※）JR新横浜駅、JR小机駅、JR横浜駅（中央通路、そごう前）、JR桜木町駅、みなとみらい線みなとみらい駅



< JR横浜駅そごう前及びJR桜木町駅の案内デスクにて、訪日観戦者をご案内する様子 >

# ラグビーワールドカップ2019™日本大会

## < ② ボランティアの活躍 >

- 全国で約13,000人、神奈川県・横浜市では約1,500人のボランティアを「TEAM NO-SIDE (チームノーサイド)」の一員として採用



<ボランティアによる案内誘導の様子>



<ボランティア研修の様子>



# ラグビーワールドカップ2019™日本大会

## < ③ ファンゾーンでの取組 >

- ファンゾーンエリアにおいても、原則、日本語・英語表記。  
ステージイベントでは、通訳を入れて外国人もお楽しみいただける方法で進行。



<開催都市最大級の380インチ大型ビジョンで試合を楽しむ観客>

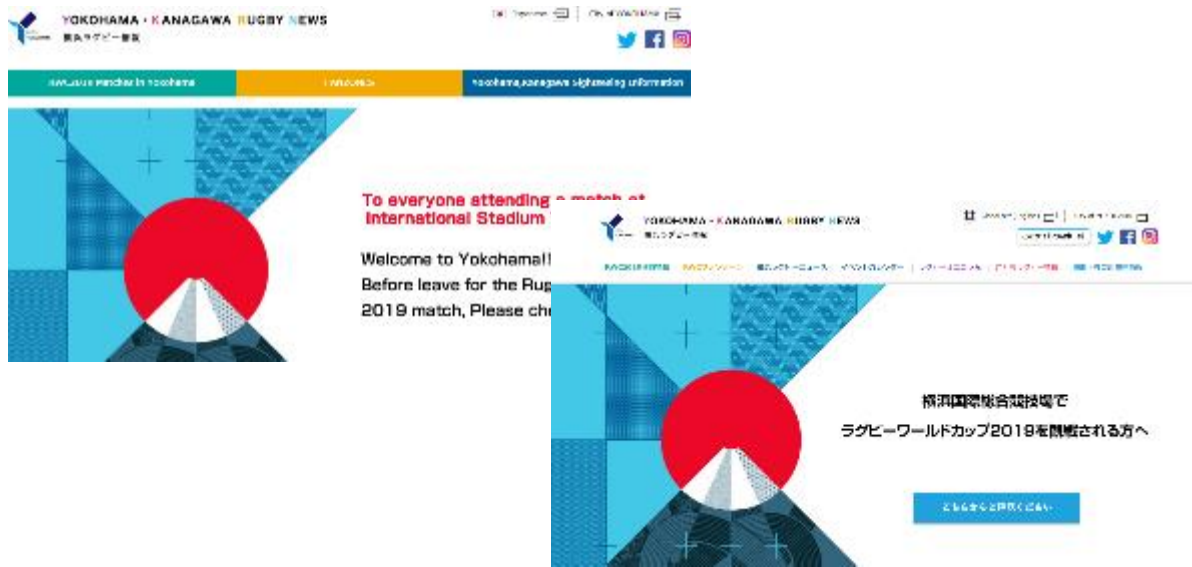


<ラグビーワールドカップ2019出場国の文化パフォーマンス>

# ラグビーワールドカップ2019™日本大会

## < ④ 広報 >

- WEBサイト「横浜ラグビー情報」は、海外からの観客に向け、英語ページを作成。台風情報やイベント情報等について、タイムリーに発信した結果、大会期間中は、1日平均3万PV／累計265万PV（当初目標25万PV）に達する。



<WEBサイト「横浜ラグビー情報」>



<ラグビーワールドカップ2019™ 神奈川・横浜まるわかりガイド>



ラグビーワールドカップ2019™日本大会

**日本語と英語でおもてなしを実現！**

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

**アジア各国からの訪日観戦者対応の必要性  
⇒やさしい日本語の普及・活用の促進**

ご清聴ありがとうございました。